

2014 年度 事業報告書

(2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014年度)を策定・実施。その後、2014年度に第一次計画の実施結果を踏まえ、「オンリーワン・ナンバーワン」をキーワードとした第二次計画(2015～2017年度)を策定。“流通科学大学オンリーワンの教育”を推進する。

②沿革

1979(昭和54)年	5月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和59)年	3月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和60)年	6月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和61)年	1月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和62)年	12月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和63)年	1月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和63)年	4月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成3)年	12月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成4)年	4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成5)年	12月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設認可
1994(平成6)年	4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成7)年	12月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成8)年	4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成9)年	9月	中内記念館(10周年記念事業)竣工
1997(平成9)年	12月	大学院(流通科学研究科 博士課程)設置認可
1998(平成10)年	4月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
2001(平成13)年	4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2004(平成16)年	5月	大阪オフィス開設(大阪駅前第4ビル19階)
2005(平成17)年	3月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成18)年	4月	アスレチック棟(20周年記念事業)竣工
2006(平成18)年	9月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成18)年	9月	流通資料館開設
2007(平成19)年	7月	講義棟6(20周年記念事業)竣工
2008(平成20)年	8月	第二クラブハウス竣工
2009(平成21)年	10月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成22)年	4月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成22)年	6月	中内功記念館リニューアル
2011(平成23)年	1月	大阪オフィス移転(ハービス OSAKA オフィスタワー8階)
2011(平成23)年	4月	商学部(商学科)開設
		※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組
		総合政策学部(総合政策学科)開設
		※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組
		サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント)学科開設
		※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組
		リテール科学研究所設立

2011(平成 23)年 9 月 キャッシュレジスター博物館開設
 2012(平成 24)年 2 月 第三クラブハウス竣工
 2015(平成 27)年 4 月 商学部(経営学科/マーケティング学科)開設、
 経済学部(経済学科/経済情報学科)開設、
 人間社会学部(人間社会学科/観光学科/人間健康学科)開設

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:石井淳蔵

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

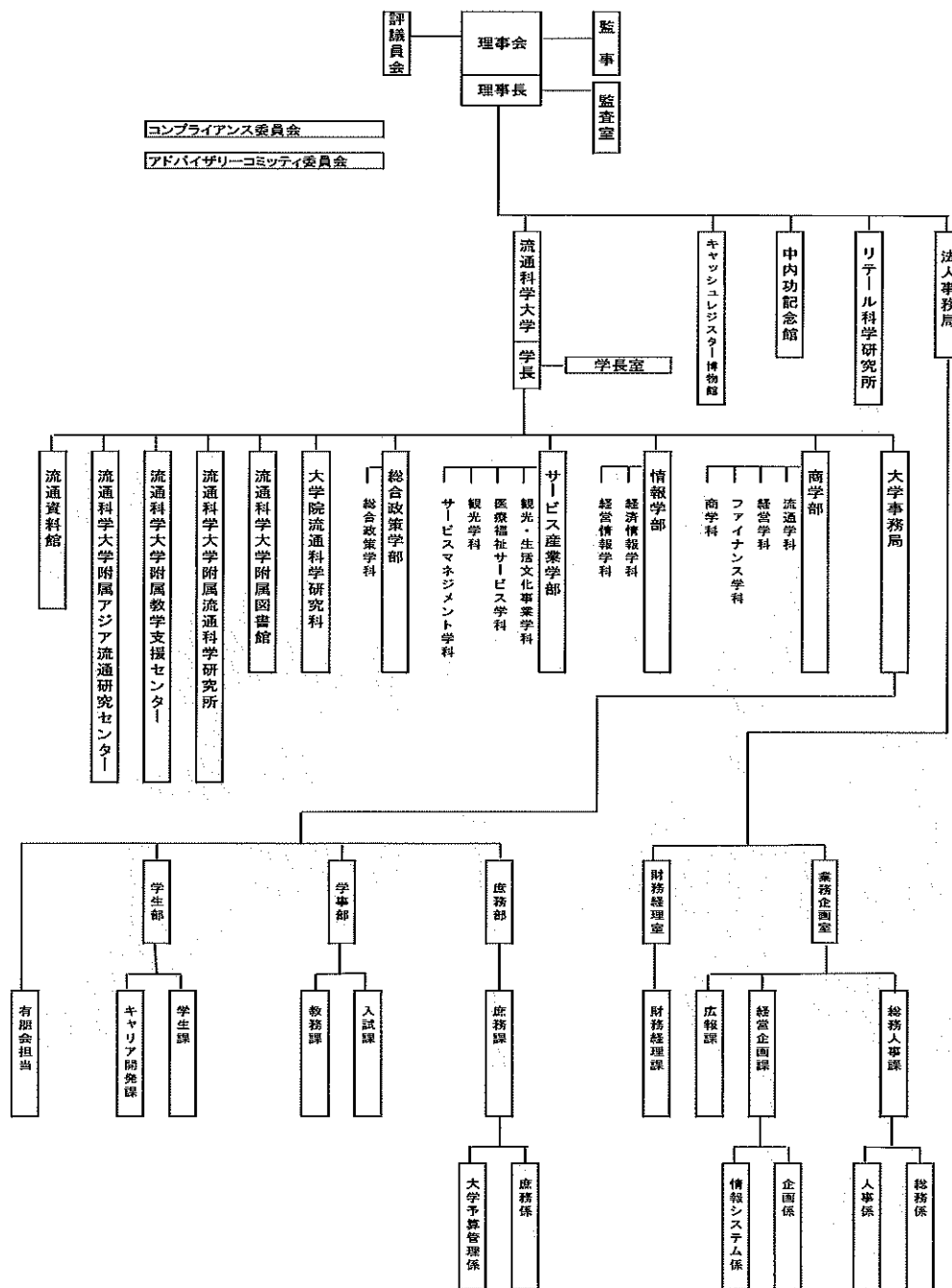
学 長:石井淳蔵

④役員及び教職員に関する情報

(2014.5.1 現在)

理 事	11 名	(うち学内理事)	7 名	(うち学外理事)	4 名		
監 事	2 名						
評議員	29 名						
教 員	111 名	(うち教授)	73 名	(うち准教授)	31 名	(うち講師)	7 名
		平均年齢(教授)	56 歳	平均年齢(准教授)	43 歳	平均年齢(講師)	38 歳
職 員	163 名	(うち正職員)	52 名				

⑤学校法人の組織図(2014.4)



⑥法人が関連する会社

- 1.会社名 流科サービス株式会社
 - 2.事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、情報システム管理、インターネット関連事業、自動販売機の管理等
 - 3.資本金 5,000 千円(中内学園 100%出資)
 - 4.従業員数等 取締役 4 名、従業員 13 名
 - 5.営業状況 営業収益 112,651 千円、経常利益 282 千円(2015 年 2 月期)
- なお、コンビニエンスストアは売上高ではなく、FC 契約に基づくオーナー収入を営業収益として算出

二	事業の概要
---	-------

(1) 2014 年度事業報告

<大学改革>

■入試

1. 2015 年度入学結果

- ・志願者数 1,885 名（前年度比 111%）
- ・入学者数 860 名（前年度比 110%）

2. 入試広報戦略の確立と実施

- ・オープンキャンパス来場者数約 2,800 名（前年度比 114%）
- ・高校へ出張講義を 30 回実施（前年度比 150%）し、高校生約 610 名（前年度比 150%）が参加
- ・中四国を中心に、オープンキャンパススタッフによる母校訪問を実施

■教育

1. 日本で類を見ない初年次教育プログラムの完成

～将来の夢や目標を早期に発見するためのカリキュラム改革～

- ・各プログラム（コミュニケーションキャンプ、フィールドワーク、在学生企画、卒業生企画、企業人企画など）でワーキンググループに分かれ、気づきのプログラムを完成
- ・クラスアシスタントとして、約 150 名の在学生在が各プログラムのフォローを実施

2. 流通科学大学オンリーワンの教育プログラムの模索

- ・「事業承継者育成プログラム」を 2015 年度より創設。事業経営者に求められる知識を徹底的に教育する
- ・メディアの最前線で感じる社会の動きを学ぶ「プロデュース論」を 2015 年度より創設

3. 産官学連携プログラムの継続と新規企画の実施

<事例紹介>

- ・「神戸研究学園都市大学対抗ゼミ企画 JR 西日本杯」（テーマ：地域旅客鉄道の活性化を図ろう）を開催し、本学のサービス産業学部 都市まちづくり専攻ゼミが優勝を飾った。（近隣 2 大学含む、27 チーム 102 名参加）
- ・阪神タイガース連携・企画プレゼンテーション大会（テーマ：学生が提案するファン拡大策）を開催し、商学部 マーケティング専攻ゼミが優勝を飾った（27 チーム 140 名参加）
- ・神戸農水産物商品化プレゼンテーション大会「KOBE にさんがろくプロジェクト」に参加（9 チーム、58 名参加）。本学の商学部 マーケティング専攻ゼミが「神戸井」で最優秀グランプリを受賞。また、本学のサービス産業学部 社会学専攻ゼミが神戸市北区産の苆をまるごと一つ使用したスイーツ「F・シュルト」を提案しアドバイザー特別賞を受賞した
- ・その他にも、神戸市バス（市バス魅力ルートプロジェクト）や神戸電鉄（栗生線・未来へと続くレールコンテスト）と連携したプログラムを開催した

■学生生活

1. 課外活動活性化のための支援制度再構築

- ・公認クラブ加入率 43.3% (前年度より 0.8%UP、前々年度より 2.8%UP)
- ・クラブオープンキャンパス参加団体 37 団体 (体育会 25 団体、文化会 12 団体)

<主なクラブ実績>

女子バレーボール部 2 部昇格、女子ゴルフ部 1 部昇格、ハンドボール 4 部昇格、バドミントン部 3 部昇格、軟式野球部 1 部残留、サッカー部 2 部 B 昇格、男子バスケットボール部 1 部残留また創部以来初となる天皇杯出場、女子バスケットボール部創設準備

2. 規律性を身につけるための仕組みづくり

- ・キャンパス全面禁煙を 4 月より導入。様々な施策・指導を実施し、喫煙率も低下している。
- ・クラブ主催によるクリーンキャンペーンを計 33 回実施 (前年度 30 回)
- ・事件、事故、トラブル防止対策として、神戸西警察署による防犯教育や SNS 等に関する注意喚起を実施した。

■キャリア開発

1. 学生が自らの「個性」を認識するためのキャリア支援制度再構築

- ・就職率 (就職決定者÷就職希望者数) 98.3% (前年度より 0.1%UP)
- ・就職率 (就職決定者÷(卒業生数-大学院進学人数)) 81.3% (前年度より 0.1%UP)
- ・学内企業説明会 参加企業数のべ 329 社 (前年度 374 社)、参加学生数のべ 5,000 名
- ・キャリア探検隊として、学生が 4 業界 (製造業、卸売業、金融業、小売業) の企業を訪問して業界研究を実施

※キャリア探検隊…人気企業への就職を目指すために、実際の業務現場を訪問し理解を深めるプログラム

- ・筆記試験 (SPI) 対策講座を実施し、のべ 1,300 名が参加

2. 特定の資格や職業を目指すカリキュラムの構築

- ・兵庫県警察本部、尼崎市役所、姫路市消防局、大阪市消防局等へ内定
- ・2015 年度より、公務員試験対策プログラム (正課カリキュラムへの利用配置、学生のモチベーション維持を目的としたクラス配置を実施) および簿記会計プログラム (日商簿記 1~3 級、税理士試験科目合格を目指す) を導入することを決定

<組織力・経営力強化>

■意思決定プロセス

1. 理事会のリーダーシップの発揮および中内学園中長期計画 (N-PLAN) の法人・大学全体での共有徹底

- ・全学教員会で「中内学園中長期計画 (第二次)」「認証評価結果をもとにした本学の取り組むべき課題」等について説明を実施し、教職員の意識共有を図った

■財務構造

1. 3大経費の予算統制による財務構造の磐石化

- ・5月に監査結果について監査法人、監事、内部監査室で情報共有し、未整備等について情報を共有
- ・無借金体制及びキャッシュイン体制の維持（現預金・特定資産 計約160億の確保）

2. 大学改革における戦略的なシステム投資

- ・基幹系システムおよび事務局情報機器類（パソコン、プリンター等）をリプレイスするとともに、資産管理システムの導入・クラウド化等を実施し、更なるセキュリティ面の強化を図った

■大学ブランドの確立

1. ブランドアイデンティティを確保するための統合性を重視した広報活動の展開

- ・7月、8月の2回に分け近畿エリア及び中四国エリアに重点的にCMを投下し、大学ブランド向上を図った
- ・本学マスコットキャラクター「りゅうか」の全面打ち出しによるイメージ向上

■学園・大学の将来像検討

1. 大学基準協会による第二期認証評価の受審

- ・4月の点検・評価報告書提出、10月の実地調査を経て、2015年3月に「適合」の評価を得た（期間：2015年4月～2022年3月）。そこから導き出される課題を学内で共有し、今後検討していくこととなった

<学園・大学の存在価値明確化>

■リテール科学研究所の発展

1. 日本におけるリテール分野の研究教育について本学園が第一人者となるための施策検討

- ・2月に「第1回震災と流通研究会」をリテール科学研究所主催で開催。リテール機能やその重要性について科学的に研究することをテーマに、内閣府より「想定される首都直下地震の規模や被害、対策」について講演頂き、経済産業省、国土交通省、リテール関係協会、本学教員が意見交換を実施
- ・「流通用語集」の制作に向け、新日本スーパーマーケット協会との打ち合わせを適宜実施し、掲載用語を確定。次年度は掲載用語の用語解説をリテール関係者約90名に依頼し、2016年2月の完成、第50回スーパーマーケットトレードショーでの配布および大学教育・広報戦略での活用を目指す

(2) 教育研究の概要

①教育研究上の基本となる組織に関する情報(2014.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	コース
商学部	商学科	リテールマネジメントコース
		流通マーケティングコース
		経営戦略コース
		オペレーションズ・マネジメントコース
		財務マネジメントコース
総合政策学部	総合政策学科	地域政策コース
		財政・金融政策コース
		情報コミュニケーションコース
		流通フロンティアコース
サービス産業学部	観光学科	
	サービスマネジメント学科	サービスマーケティングコース
		スポーツ健康マネジメントコース
		サービス心理コース
		福祉マネジメントコース

流通科学大学大学院

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

②教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2014.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	商学科	48	31	13	4	27	17	16
総合政策学部	総合政策学科	32	20	12	0	23	7	11
サービス産業学部	観光学科	11	9	2	0	2	7	9
	サービスマネジメント学科	20	13	4	3	6	12	12

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	36	31	5	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

③学生に関する情報

<入学に関する基本的な方針>

- ・高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。
- ・高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

<2014年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	400名	398名
総合政策学部	250名	103名
サービス産業学部	250名	279名
学部計	900名	780名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	19名
	博士後期課程	5名	0名
大学院計		25名	19名

総合計	925名	799名
-----	------	------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2014.5.1現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,600名	1,610名
情報学部	500名	58名
総合政策学部	500名	628名
サービス産業学部	1,000名	907名
学部計	3,600名	3,203名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	40名
	博士後期課程	15名	1名
大学院計		55名	41名

<学生数－内訳(2014.5.1現在)>

流通科学大学

学部	学科	1学年	2学年	3学年	4学年	全学年合計		
						男	女	計
商学部	流通学科				17	13	4	17
	経営学科			1	37	37	1	38
	ファイナンス学科				15	13	2	15
	商学科	398	407	366	369	1,256	284	1,540
	計	398	407	367	438	1,319	291	1,610
情報学部	経済情報学科				36	35	1	36
	経営情報学科				22	21	1	22
	計				58	56	2	58
総合政策学部	総合政策学科	103	122	183	220	548	80	628
	計	103	122	183	220	548	80	628
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科				20	15	5	20
	医療福祉サービス学科			1	13	12	2	14
	観光学科	67	47	66	61	123	118	241
	サービスマネジメント学科	212	153	144	123	426	206	632
	計	279	200	211	217	576	331	907
学部計		780	729	761	933	2,449	704	3,203

流通科学大学大学院

研究科	課程	1学年	2学年	3学年	全学年合計		
					男	女	計
流通科学研究科	修士課程	19	21		24	16	40
	博士後期課程		1			1	1
大学院計		19	22		24	17	41

総合計	799	751	761	933	2,523	721	3,244
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------

<卒業生数・就職者数・進学者数>

流通科学大学

学部	学科	2014年度 卒業生数	卒業生数 累計	2014年度 就職者数	2014年度 進学者数
商学部	流通学科	11(7)	5,043	3(1)	0
	経営学科	24(13)	4,259	10(5)	0
	ファイナンス学科	3(2)	1,614	1(1)	0
	サービス産業学科	0(0)	815	0	0
	商学科	294(0)	294	248	3
	計	332(22)	12,025	262(7)	3
総合政策学部	総合政策学科	178(0)	179	135	1
	計	178(0)	179	135	1
情報学部	経済情報学科	20(11)	2,657	5(0)	0
	経営情報学科	12(5)	2,880	4(3)	0
	計	32(16)	5,537	9(3)	0
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	8(4)	1,255	2(0)	0
	医療福祉サービス学科	6(1)	1,135	3(0)	0
	観光学科	50(0)	50	40	0
	サービスマネジメント学科	101(0)	101	85	1
	計	165(5)	2,541	130(0)	1
学部計		707(43)	20,282	536(27)	5

※2014年度卒業生数のうち、()の数字は2014年度9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2014年度 卒業生数	卒業生数 累計	2014年度 就職者数	2014年度 進学者数	2014年度 卒業生数	卒業生数 累計	2014年度 就職者数	2014年度 進学者数
流通科学	18(3)	260	1	0	0	11	0	0

※2014年度卒業生数のうち、()の数字は2014年度9月卒業者数

<卒業後の進路（主な就職分野）>[具体的な就職先等]

2014年度 主な内定先 ※業種毎の五十音順

小売	(株)AOKIホールディングス	東証1部	卸売	日本産業(株)		情報通信	(株)アイレックス	ジャスダック
	イズミヤ(株)	東証1部		(株)バイク王&カンパニー	東証2部		(株)インテック	
	(株)エービーシー・マート	東証1部		藤原産業(株)			(株)ヴィンクス	ジャスダック
	(株)カインズ			(株)マヤテック			(株)ソフトウェア・サービス	ジャスダック
	(株)関西スーパーマーケット	東証1部		(株)やよい			ディップ(株)	東証1部
	(株)関西ケーズデンキ			ユーシーシーフーズ(株)			東京コンピュータサービス(株)	
	ギャップジャパン(株)			(株)よんやく			(株)光通信	東証1部
	(株)キリン堂	東証1部		(株)菱和			(株)ブロードリーフ	東証1部
	神戸トヨペット(株)			(株)ロートレ・アモン			(株)USEN	ジャスダック
	(株)神戸マツダ			宮野医療器(株)			尼崎信用金庫	
	(株)光洋			(株)サンヨーハウジング名古屋	東証1部	金融・保険	イオンフィナンシャルサービス(株)	東証1部
	コーナン商事(株)	東証1部	建設・不動産	昭和住宅(株)			岡三証券(株)	
	コストコホールセールジャパン(株)			住友不動産販売(株)	東証1部		岡山市農業協同組合	
	(株)コスモス薬品	東証1部		セキスイハイム山陽(株)			おかやま信用金庫	
	(株)コメリ	東証1部		積和不動産関西(株)			岡山西農業協同組合	
	(株)サンドラッグ	東証1部		大東建託(株)	東証1部		近畿産業信用組合	
	(株)ジャパンビバレッジホールディングス			大和ハウス工業(株)	東証1部		神戸信用金庫	
	(株)スギ薬局			タマホーム(株)			第一生命保険(株)	東証1部
	(株)スズキ自販兵庫			西尾レントオール(株)	東証1部		但馬信用金庫	
	大黒物産(株)	東証1部		阪神ホーム(株)			但陽信用金庫	
	(株)TASAKI	東証1部		ファースト住建(株)	東証1部		(株)徳島銀行	
	(株)ナック			美樹工業(株)	ジャスダック		(株)トマト銀行	東証1部
	(株)ナフコ	ジャスダック		(株)レオパレス21	東証1部		西兵庫信用金庫	
	日産プリンス兵庫販売(株)			アークハリマ(株)			日新信用金庫	
	(株)ニトリ			(株)伊藤園	東証1部		播州信用金庫	
	(株)ハナデン	東証2部		オークラ輸送機(株)			姫路信用金庫	
	(株)ハローズ	ジャスダック		(株)岡村製作所	東証1部		兵庫六甲農業協同組合	
	(株)阪食			キング醸造(株)			兵庫県信用農業協同組合連合会	
	兵庫ダイハツ販売(株)			(株)グルメデリカ			兵庫南農業協同組合	
	兵庫日産自動車(株)			グローリープロダクツ(株)			(株)みなと銀行	東証1部
	(株)平和堂	東証1部	製造	小松電機産業(株)		宿泊・飲食	みのり農業協同組合	
	(株)ベベ			三協立山(株)	東証1部		明治安田生命保険相互会社	
	マックスバリュ西日本(株)	東証2部		三和テクノ(株)			穴吹エンタープライズ(株)	
	(株)マルアイ			大和冷機工業(株)	東証1部		117グループ	
	(株)マルハチ			つるや(株)			(株)神戸ポートピアホテル	
	(株)万代			(株)ドンク			(株)新神戸ホールディング	
	(株)三城			日本ヴィクトリック(株)			(株)サイゼリヤ	東証1部
	(株)メガネトップ	東証1部		日本ピラー工業(株)	東証1部		スターバックスコーヒージャパン(株)	ジャスダック
	(株)ヤマダ電機	東証1部		阪神内燃機工業(株)	東証2部		(株)東横イン	
	(株)ヤマノホールディングス	ジャスダック		フジコ(株)	東証1部		(株)阪急阪神ホテルズ	
	(株)ユナイテッドアローズ	東証1部		フルタニ産業(株)			(株)平安	
	(株)ヨドバシカメラ			(株)ペイクルーズ			(株)ホテルニューアワジ	
	(株)ライトオン	東証1部		(株)ホギメディカル	東証1部		(株)ライフフーズ	ジャスダック
	(株)レッドパロン			マリンフーズ(株)			リゾートトラスト(株)	東証1部
卸売	アシックス商事(株)	東証2部	運輸	アートコーポレーション(株)	東証1部	医療福祉	(福)ささゆり会	
	(株)アズノウアズ			伊藤忠ロジスティクス(株)			(福)聖徳園	
	(株)あらた	東証1部		ANA大阪空港(株)			(福)阪神福祉事業団	
	石黒メディカルシステム(株)			アートコーポレーション(株)	東証1部		(株)ベネッセスタイルケア	
	(株)泉平			岡山県貨物運送(株)	東証2部	サービス・その他	ジェイコム(株)	
	伊丹産業(株)			(株)上組	東証1部		(一社)全日検	
	(株)イトー			(株)ケイラインロジスティクス			総合警備保障(株)	東証1部
	イトキン(株)			鴻池運輸(株)	東証1部		(株)タビックスジャパン	
	エスフーズ(株)	東証1部		国際コンテナ輸送(株)			テンプスタッフ(株)	
	尾家産業(株)	東証1部		(株)サカイ引越センター	東証1部		日清医療食品(株)	
	(株)カーチスホールディングス	東証2部		佐川急便(株)			日本郵便(株)	
	(株)高速	東証1部		トナミ運輸(株)			(株)パソナ	
	(株)スズキ販売西兵庫			トレディア(株)	東証2部	公務	(株)船井総合研究所	東証1部
	スターゼン(株)	東証1部		ナガセ物流(株)			ロングライフホールディング(株)	ジャスダック
	(株)スミノエ			日本貨物鉄道(株)			尼崎市役所	
	(株)たけでん			(株)ベル・エキブ			大阪市消防局	
	(株)ダンロップホームプロダクツ			(株)間口			姫路市消防局	
	トーヨーグループ	東証1部		水岩ファッションサービス(株)			兵庫県警察本部	

④教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDFファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑤学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	流通学科	4年	128	学士(商学)
	経営学科			学士(経営学)
	ファイナンス学科			学士(ファイナンス)
	商学科			学士(商学)
情報学部	経済情報学科			学士(経済情報)
	経営情報学科			学士(経営情報)
総合政策学部	総合政策学科			学士(総合政策)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科			学士(観光・生活文化事業)
	医療福祉サービス学科			学士(医療福祉サービス)
	観光学科			学士(観光)
	サービスマネジメント学科			学士(サービスマネジメント)

流通科学大学大学院

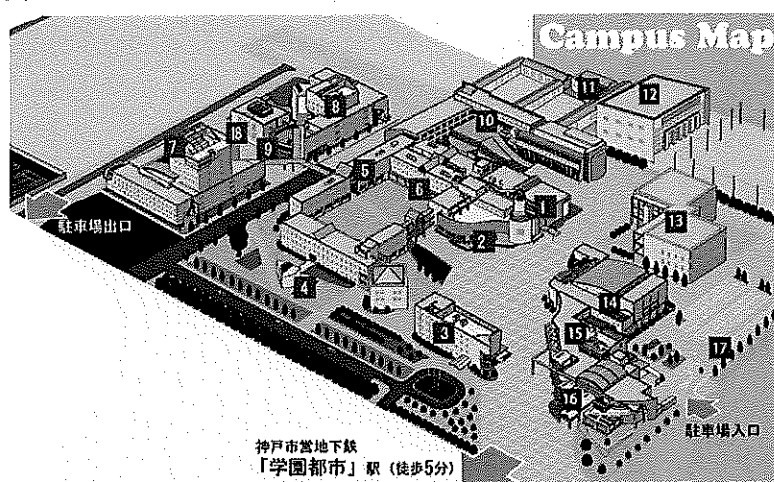
研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3年	12	博士(流通科学)

⑥学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩5分
	情報学部		
	サービス産業学部		
	総合政策学部		
	流通科学研究科		

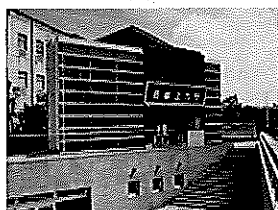
<キャンパスの概要>



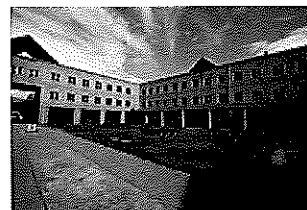
- | | | |
|--------------|---------------|---------------------------------|
| 1. ベルタワー | 7. 講義棟2、研究棟2 | 13. 講義棟6
(キャリアセンター、メディアセンター) |
| 2. 附属図書館 | 8. 講義棟3、研究棟3 | 14. RYUKA HALL |
| 3. 本部棟(事務局) | 9. 大学院 | 15. ローソン流科大実習店 |
| 4. 中内功記念館 | 10. 講義棟5、研究棟5 | 16. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 講義棟1、研究棟1 | 11. クラブハウス | 17. 学生専用駐車場 |
| 6. 中庭・保健室 | 12. アスレチック棟 | 18. 流通資料館 |



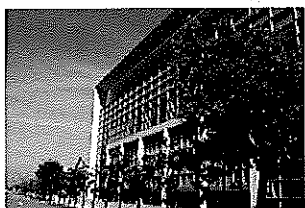
ベルタワー(1)



中内功記念館(4)



中庭・保健室(6)



アスレチック棟(12)



講義棟6(13)

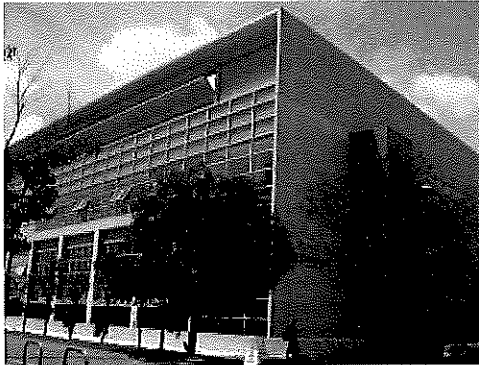


RYUKA DINING(レストラン)(16)

<運動施設の概要>

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学20周年記念事業の一環として建設し、2006年4月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼100メートル、中堅122メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

北側と西側にグラウンドが2面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的:課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体:35の体育会系クラブと15の文化会系クラブ、また体育会系30程度、文化会系15程度のサークルもあり、学園祭実行委員会など独立団体も合わせて在学生全体の56%(2014年度実績)が何らかの団体に参加している。

⑦学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目			入学時	後期(9月)	納付額
初年度のみ	入学金		300,000円	—	300,000円
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000円	—	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140円	—	4,140円
学費	授業料		385,000円	385,000円	770,000円
	施設設備維持拡充費		50,000円	50,000円	100,000円
	教育充実費		50,000円	50,000円	100,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—	42,000円
合計			841,140円	485,000円	1,326,140円

2年目以降の納付金	前期(4月)	後期(9月)	納付額
	527,000円	485,000円	1,012,000円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用(入学金)	二次手続費用(前期授業料等)
300,000円	541,140円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。

2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

- サービス産業学部の福祉マネジメントコースを選択した学生で、福祉施設の実習に行く場合は、2年次前期から5万円の
実験実習費が必要となる(2年次前期から2年間の計4期で合計20万円)。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。
- 各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして扱う。
- いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額		納付時期
			修士課程	博士後期課程	
初年度のみ	入学金		300,000円	300,000円	入学 手続時
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170円	3,230円	
	初年度のみ 合計		302,170円	303,230円	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円	
	前期教育充実費		50,000円	50,000円	
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円	
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
入学時納付金 合計			702,170円	703,230円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円	9月1日 ～ 10月31日
	後期教育充実費		50,000円	50,000円	
後期納付金 合計			370,000円	370,000円	
納付金合計			1,072,170円	1,073,230円	

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑧学生支援と奨学金に関する情報

<学生支援組織>

学生支援	組織名	機能
就職支援	キャリア開発課	・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・OB・OG就職相談会 ・就職対策宿泊セミナー ・4年生による就職活動相談会 ・就職父母懇談会 ・キャリアリーダー・チューター制度 ・業界研究セミナー ・SPI対策講座 ・サテライトオフィス(東京・大阪)
進学支援	入試課 教務課	・大学院入試制度の紹介等
履修支援	教務課	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時) ・学修相談会(年10回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生課	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介
保険・衛生・メンタルヘルス等	保健室	・毎月定期的に学校医による健康相談 ・保健師による健康相談 ・カウンセラーによる悩み相談 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等

<奨学金>

『一般学生対象の奨学金制度』

「成績優秀者奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の成績優秀な学部生に対し支給する。

(資格)

- ・各学年各学部の前年度取得科目の素点平均による成績上位者
- ・2～4年の各学年それぞれ7名(商学部3名、総合政策学部2名、サービス産業学部2名)

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 30万円(年額)

(2014年度実績) 商学部9名、総合政策学部6名、サービス産業学部6名

(備考) 留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の学部生に限る

「下宿サポート奨学金」

(主旨)

入学時に下宿を予定している者を対象に30万円を支給。

(資格)

入学後下宿予定の者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円(授業料免除)

(2014年度実績) 88名

(備考) 全入試方式対象

「S方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試S方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・S方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2014年度実績) 21名 ※2014年度入試より制度廃止のため、2～4年生の実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「A方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試A方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・A方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2014年度実績) 16名 ※1年生実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「C 方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試 C 方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的とし支給する。

(資格)

- ・C 方式成績上位 30 名 (1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者 (2 年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 1 年次 30 万円 (年額)

(2014 年度実績) 9 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「RYUKA 特別奨学金 (授業料全額減免)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料全額を 4 年間継続免除する。

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者 (1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者 (2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料全額

(2014 年度実績) 10 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「RYUKA 特別奨学金 (授業料半額減免)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料半額を 4 年間継続免除する。

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者 (1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者 (2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料半額

(2014 年度実績) 1 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「商業系特別推薦入試奨学金」

(主旨)

商業系特別推薦入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的とし支給する。

(資格)

- ・商業系特別成績上位 20 名 (1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者 (2 年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 1 年次 30 万円 (年額)

(2014 年度実績) 2 名 ※2013 年度入試より資格講座無料受講制度へ変更のため、3 年生の実績

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「東日本大震災特別奨学金」

(主旨)

宮城・岩手・福島の3県で指定校を新たに設定し、東日本大震災で被災を受けた者を対象に支給する。

(資格)

東日本大震災特別入試入学者

(支給方法) 授業料免除および下宿代

(支給期間) 4年間

(金額) 4年間授業料免除、下宿代4年間(月3万程度)

(2014年度実績) 3名 ※2012年度入試に限った措置であるため、3年生の実績

「兄弟姉妹入学奨学金」

(主旨)

本学に兄弟姉妹で同時に学ぶ学生に対し支給する。

(資格)

- ・新入生であること
- ・兄弟姉妹が流通科学大学及び大学院の在学者であること
- ・兄弟姉妹が申請時に在学をしている者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 対象者1名に対し10万円

(2014年度実績) 16名

(備考) 兄弟姉妹が休学の者は除く

「日本学生支援機構」

(主旨)

学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者。

(選考)

・第一種奨学金

特に優れた学生及び生徒で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与する。

・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与する。

(支給方法) 貸与

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

・第一種奨学金

自宅通学者 3.0万円、5.4万円の中から選択

自宅外通学者 3.0万円、6.4万円の中から選択

・第二種奨学金 3万、5万、8万、10万、12万の中から選択

(2014年度実績) 第一種 260名、第二種 1,178名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝有利子(上限3%)

「(財)瀧川奨学財団」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)・兵庫県出身者の者、または家族が県内に住んでいる者。

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間

(金額) 2.5万円(月額)

(2014年度実績) 3名

「(財)山村育英会奨学金」

(主旨)

大学学部に在学する志操堅固、学力優秀な者(2年生以上)

(支給方法) 給付

(支給期間) 3年間

(金額) 3万円(月額)

(2014年度実績) 3名

「その他の奨学金」

神戸市大学奨学金[給付:月額1万5千円]

三木市教育委員会奨学金[給付:月額9千円]

(財)あしなが育英会奨学金[貸与:月額4万円または5万円]

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生及び社会人入試、帰国生徒入試で入学した者に対し支給する。

(資格)

- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 5.3万円(月額)

(2014年度実績) 19名

(備考) 規程:各学年10名以内

「中内学園大学院特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、研究心が旺盛で、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者に対し支給する。

(資格)

- ・大学院修士課程在学者及び大学院博士後期課程在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 修士課程 7.1万円(月額) 博士後期課程 8万円(月額)

(2014年度実績) 15名

(備考) 規程:修士 各学年8名以内 博士 各学年2名以内

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の50%もしくは30%

(2014年度実績) 授業料50%減免 学部生12名(後期は8名)、大学院生10名

授業料30%減免 学部生185名 大学院生0名

(備考) 財源:流通科学大学

「私費外国人留学生精勤者等授業料奨減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀である、「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の50%もしくは30%

(2014年度実績) 授業料50%減免1名(後期は0名)、授業料30%減免93名

(備考) 財源:流通科学大学

「岡田スカラシップ」

(主旨)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収め入学するベトナム人留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収めた者(各年度に入学する学生のうち3名以内)

(支給方法) 給付

(支給期間) 2年間

(金額) 1年次 160万円(年額)、2年次 100万円(年額)

(2014年度実績) 5名

(備考) 規程:各学年3名以内、財源:流通科学大学

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流科大がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として支給

(資格)

外国人留学生入学試験で入学した者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円

(2014年度実績) 103名

(備考) 財源:流通科学大学

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 学部生 4.8万円(月額) 大学院生 6.5万円(月額)

(2014年度実績) 学部生 11名(後期追加5名) 大学院生 2名

(備考) 財源:文部科学省

「兵庫県私費留学生奨学金」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

- ・兵庫県内の大学に在学する私費外国人留学生。

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 3万円(月額)

(2014年度実績) 学部生 19名 大学院生 2名

(備考) 財源:神戸市

なお、『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』のうち、「ロータリー米山奨学金」「平和中島財団奨学金」「神戸菅原奨学金」については、2014年度、対象となる者がいなかった。

(3) 管理運営の概要

【ガバナンス】

「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

「常任理事会」……………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する。

「評議員会」……………予算、事業計画、寄付行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問。

「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成の基準及び全学の調整に関する学長の諮問、本学の教員の採用及び昇格の全学の調整に関する学長の諮問、本学の教育研究に係る自己点検・評価及び第三者評価に関する学長の諮問、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。

「教授会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学生の卒業、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成に関する学長の諮問、教員の採用及び昇格に関する学長の諮問、その他本学の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

「研究科委員会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学位論文の審査及び課程修了認定、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成、大学院担当教員の選考、その他大学院研究科の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

2014 年度の開催回数について

理事会	5 回	学長会議	13 回
常任理事会	2 回	教授会	51 回(商学部 17 回、総合政策学部 17 回、サービス産業学部 17 回)
評議員会	5 回	研究科委員会	9 回

【自己点検・評価】

<自己点検・評価の目標>

自己点検・評価は本学における各種の取り組みの検証・改善を目的とする。

このために自己点検・評価の手法と評価の指標や目標を明確にし、自己点検・評価を Plan-Do-Check-Act のサイクルで検証し、改善に結びつける体制を確立し、さらには第三者による評価に付す仕組みを整えることを目標とする。

<自己点検・評価の経過>

・教育研究等活動報告

各教員の教育研究活動に関しては、1993 年度に「教育研究等活動報告(1992 年度)」が出版され、以降毎年度出版している。これには各教員の、研究活動、教育活動、その他の活動が記録されており、特に発行当初から、「授業で工夫・改善した事柄」を記述している点が特色となっている。

2005 年度の「教育研究等活動報告」(2006 年度発行)からは、各教員が恒常的に自己点検・評価をすることを目指し、「今年度の(研究、教育、その他の活動に関する)目標」の項目が付け加えられた。

・学外者による評価・アドバイス

自己点検・評価と関連し、2004 年度からアドバイザリー・コミッティ委員制度を導入した。

これは、実業界のトップから実業界・社会からの要請を踏まえたご意見とアドバイスを受けて、次の項目の協力を得ようとするものである。

1. 学園の経営に関するアドバイス
2. 企業から期待する教育に関するアドバイス
3. 就職とキャリア教育に関する支援
4. 入試に関するアドバイス
5. 産学連携

<現在の自己点検・評価の体制>

・教育審議会

本学の教育研究活動などの自己点検・評価に関する事項を審議する機関を「教育審議会」という。

教育審議会は、副学長のほか、各学部長、大学事務局長、教学部長などから構成されており、具体的な対策が実行しやすい組織になっている。また、全学的な最高意思決定機関である学長会議でも、本学の教育研究に係る自己点検・評価および第三者評価に関する学長の諮問事項を審議する。

自己点検・評価の対象は、本学のあらゆる取り組みにわたり、担当者、担当部署、担当委員会などの日常的な取り組み・日常的な自己点検・評価は、それぞれの委員会報告などでなされている。

これらの総括のため、「自己点検・評価を恒常的に行うための制度システム」が必要であり、本学では自己点検・評価の中核機関として「教育審議会」を位置付けている。

・教育審議会規則

※大学ホームページにて公開(PDF ファイルのダウンロード可)

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

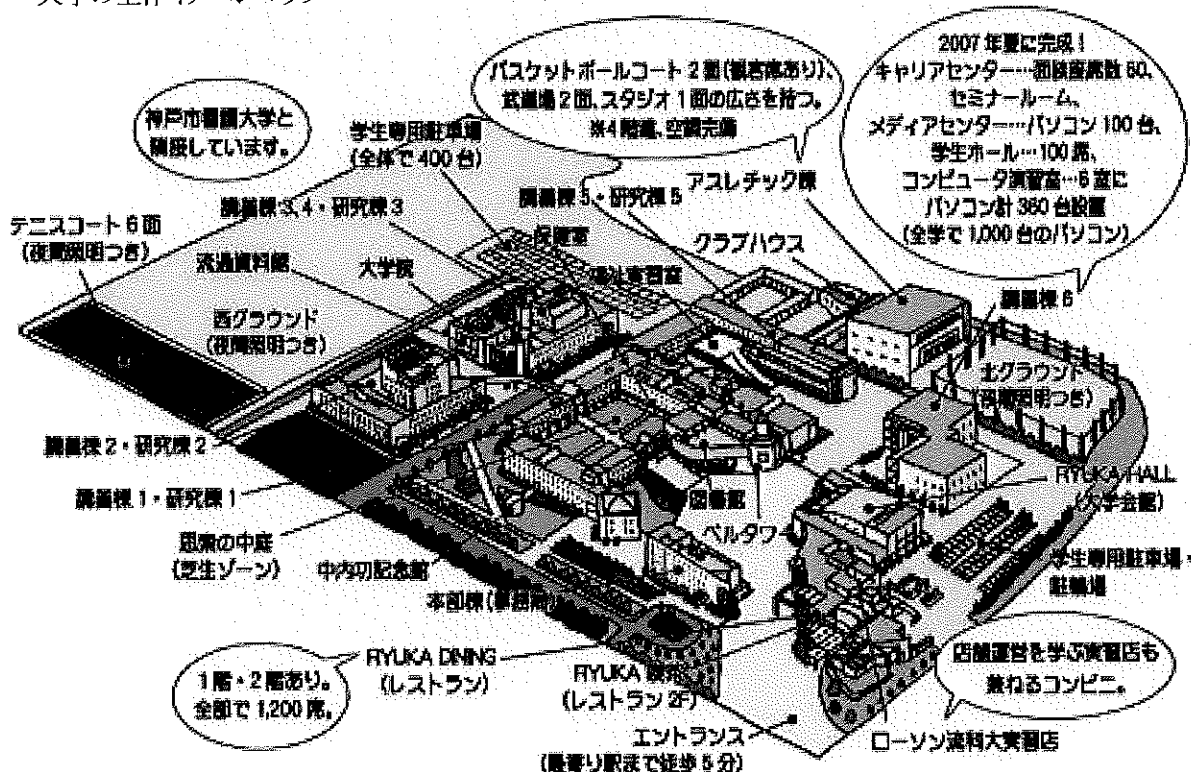
・教育研究活動の状況

※大学ホームページにて公開

【施設設備整備】

<概要>

大学の全体イメージマップ



<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 186,972 冊、雑誌 2,235 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内功記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

19. 第 2 クラブハウス

延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成

20. 第 3 クラブハウス

延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成

21. 駐車場台数

約 500 台(学生用 400 台、教職員用 100 台)

22. 駐輪場台数

約 350 台

23. グラウンド

西側グラウンド・北側グラウンドの 2 面

24. 流通科学大学野球場

敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成

(更衣室等 171.95 平方メートル)

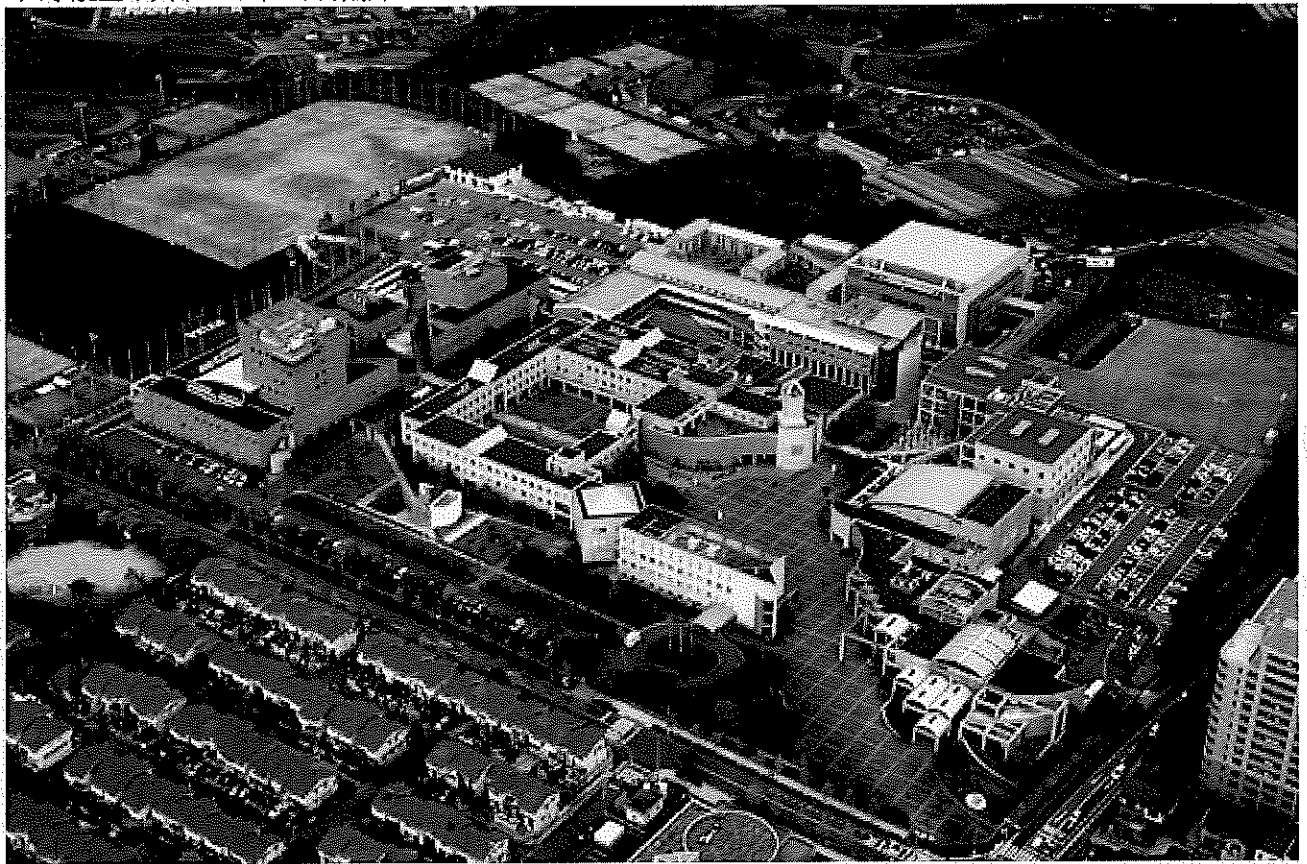
25. 大阪オフィス

賃貸面積 225.99 平方メートル

26. 東京オフィス

賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2009 年 4 月撮影)



(4) 上記「(1)～(3)」以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入（1994年度）
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有（2001年度）
- ・「全学的一斉授業公開（オープンクラスウィーク）制度」導入（2003年度）
- ・FD研修会の継続実施
- ・FDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
- ・認定留学制度

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は1ヶ月程度。研修実施国はアメリカ、ニュージーランド、中国の3カ国。

<海外市場研究>

- ・本学の学生を対象に海外の流通事情調査を実施。調査期間は1週間。視察対象を凝縮し合理的かつ効率的に学べるプログラム。

<海外の提携校>

- ・台湾…国立高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、
南京大学外国部、四川外国語大学、常熟理工学院、常州観光ビジネス高等職業技術学校
- ・ベトナム…貿易大学
- ・タイ…カセサート大学、タマサート大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学
- ・アメリカ…ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド…バーサ大学
- ・フランス…ESC ブルターニュプレスト

<アジア流通研究センター>

- ・本学の建学理念に基づく「アジアを中心とした流通研究」と「アジアとの交流」を推進するため、学術交流、ビジネス交流を促進する機能を遂行する組織。

③社会や企業と連携したアクティブラーニング活動の概要

<活動実績（2014年度）>

- ・神戸研究学園都市企業杯「2014年度学園都市大学対抗ゼミ企画 JR西日本杯」を開催

概要：「地域旅客鉄道の活性化を図ろう！！」をメインテーマに実施。1チーム10分間という限られた時間の
中で、地域とJR西日本とのコラボレーション企画などについて、各チームによる知恵を絞ったレベル
の高い提案が行われた。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社

日程：2014年9月～2015年1月

参加状況：3大学（神戸芸術工科大学、兵庫県立大学、本学）、27チーム参加者総数102名

・大学生による「ひょうごのまちあるき企画」

概要：ツーリズムひょうご学官連携協議会企画として4大学（神戸山手大学、神戸海星女子学院大学、神戸国際大学、本学）が独自のまち歩き11コース（本学は6コース企画）を企画・設定し学生が現地観光ガイドを務めた。

連携先：ツーリズムひょうご学官連携協議会

日程：2014年9月～12月

参加状況：参加者総数30名

・阪神タイガース連携「学生が提案するファン拡大策」

概要：観客を球場に呼ぶためのイベント企画やSNS・最新技術を使ったユニークな演出など、知恵を絞ったレベルの高い提案が行われた

連携先：株式会社阪神タイガース、阪神電気鉄道株式会社

日程：2014年9月～12月

参加状況：27チーム 参加者総数140名

・神戸農水産物商品化プレゼンテーション大会「KOBEにさんがろくプロジェクト」

概要：神戸産の農水産物を利用した商品化に取り組む

連携先：神戸市

日程：2014年6月～12月

参加状況：9チーム（4ゼミ）参加者総数58名

実施結果：流通科学大学（高橋ゼミ）が「神戸井」で最優秀グランプリを受賞。また、栗田ゼミは神戸市北区産の苆をまるごと一つ使用したスイーツ「F・シュルト」を提案しアドバイザー特別賞を受賞した。

④地域交流・連携 活動実績一覧（2014年度）

・トライやるウィーク（中学生職業体験企画）

概要：近隣の中学生に5日間（9:00～15:30）、流通科学大学内の様々な職業を体験して頂いた。

日程：前期 6月2日（月）～6日（金）、後期 11月10日（月）～14日（金）

参加中学校：前期：西神中学校、後期：井吹台中学校、平野中学校

参加人数：6名（各校2名ずつ）

・三木平井山おもてなしウォーク開催

概要：神戸電鉄栗生（あお）線活性化協議会による“栗生線活性化グランプリ「栗生線・未来へと続くレールコンテスト」”の「利用促進・啓発活動部門」へ応募し、「三木平井山おもてなしウォーク」が企画・開催された。貸し切り列車車中での学生による「脳トレ体操」「効率のよい歩き方講座」や、黒田官兵衛ゆかりの地「三木平井山本陣跡」へのガイド付きウォーキング等が行われた。

日程：2014年9月15日

参加人数：53名

・学園夏祭り

概要：学園西町連合会主催の「学園夏祭り」が8月2日（土）・3日（日）の2日間、学園都市のユニバードームで開催され、本学の文化会が企画・運営に携わった。1日目のステージでは、吹奏楽団、チアリーダー部、和太鼓部が出演。出典ブースでは、社会イベント隊ランニングボランティア部はストラックアウト、児童ボランティア部「ALL-IN」はヨーヨー釣り、点字ボランティア部「Hamy2」は点字体験、電腦部マスターシステムは自作PCゲーム体験、情報フォーラム部はプリクラ、現代視覚文化研究会は塗り絵と、それぞれのクラブが体験型イベントを出展した。

連携先：学園西町自治会

日程：2014年8月2日～3日

三	財務の概要
---	-------

〈概況〉

2014年度の消費収支は、基本金取崩額も含め、単年度で約6億4千万円の支出超過となりました。必要経費の選択と集中に努めましたが、基幹システム更新等による投資増、帰属収入の減少により、帰属収支では約6億8千万円の支出超過となりました。

自己資本は前年比約6億8千万円減の352億7千万円となりましたが、引き続き磐石な財務構造を維持しています。

〈消費収支計算書〉

(単位：百万円)

消費収入の部	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
学納金	3,226	3,442	3,798	3,973
手数料	49	46	49	57
寄付金	56	76	47	81
補助金	227	335	332	298
資産運用収入	119	134	156	141
事業収入	62	68	64	68
雑収入	30	28	33	22
帰属収入合計	3,769	4,129	4,479	4,640
基本金組入額	△4	△1	△378	△569
消費収入合計	3,765	4,128	4,101	4,071
消費支出の部	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
人件費	2,356	2,360	2,310	2,331
教育研究経費	1,633	1,540	1,601	1,607
管理経費	452	416	531	473
その他	6	7	15	7
消費支出合計	4,447	4,323	4,457	4,418
単年度収支	△682	△195	△356	△347
基本金取崩額	40	21	-	-
累計収支	1,704	2,348	2,522	2,878

〈資金収支計算書〉

(単位：百万円)

収入の部	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
学納金収入	3,226	3,442	3,798	3,973
手数料収入	49	46	49	57
寄付金収入	51	70	40	73
補助金収入	227	335	332	298
資産運用収入	119	134	156	141
事業収入	62	68	64	68
雑収入	30	28	33	22
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	641	590	567	652
その他の収入	4,233	2,454	4,757	3,595
資金収入調整勘定	△604	△607	△678	△751
前年度繰越支払資金	5,032	5,711	5,180	5,154
収入合計	13,066	12,271	14,298	13,282
支出の部	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
人件費支出	2,348	2,279	2,258	2,281
教育研究経費支出	1,188	1,084	1,132	1,133
管理経費支出	401	362	472	411
借入金等返済支出	0	1	3	8
施設関係支出	36	52	91	177
設備関係支出	198	105	35	49
資産運用支出	1,072	2,265	3,636	2,979
その他の支出	1,050	1,173	1,082	1,193
資金支出調整勘定	△197	△82	△122	△129
次年度繰越支払資金	6,970	5,032	5,711	5,180
支出合計	13,066	12,271	14,298	13,282

〈貸借対照表（経年比較）〉

（単位：百万円）

資 産 の 部				
科 目	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
固 定 資 産	30,086	32,518	31,986	32,546
有形固定資産	21,010	21,425	21,779	22,188
土地	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	9,137	9,548	9,953	10,324
教育研究用機器備品	193	193	148	185
図書	906	905	901	894
その他	48	53	51	59
その他の固定資産	9,075	11,093	10,207	10,358
特定資産	5,388	5,552	5,547	5,173
その他	3,687	5,541	4,660	5,185
流 動 資 産	6,997	5,084	5,747	5,215
現金預金	6,970	5,032	5,711	5,180
その他	27	52	36	35
資産の部 合計	37,082	37,602	37,733	37,761
負 債 の 部				
固 定 負 債	945	939	859	809
退職給与引当金	943	936	855	803
その他	2	3	4	6
流 動 負 債	867	714	731	831
前受金	641	589	567	652
その他	226	125	164	179
負債の部 合計	1,812	1,653	1,590	1,640
基 本 金 の 部				
第1号基本金	30,853	30,717	30,660	30,604
第2号基本金	791	966	1,044	724
第3号基本金	1,564	1,560	1,559	1,557
第4号基本金	358	358	358	358
基本金の部 合計	33,566	33,601	33,621	33,243
消費収支差額の部				
次年度繰越消費収支差額	1,705	2,348	2,522	2,878
消費収支差額の部 合計	1,705	2,348	2,522	2,878
負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部合計	37,083	37,602	37,733	37,761

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	（算式）	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
流動比率	流動資産/流動負債	807.0%	711.5%	786.1%	627.0%
人件費比率	人件費/帰属収入	62.5%	57.2%	51.6%	50.2%
人件費依存率	人件費/学納金	73.0%	68.6%	60.8%	58.7%
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	43.3%	37.3%	35.7%	34.6%
管理経費比率	管理経費/帰属収入	12.0%	10.1%	11.9%	10.2%
消費支出比率	消費支出/帰属収入	118.0%	104.7%	99.5%	95.2%